

Q&A

Q1.皇室典範問題って？

わが国には皇室に関する様々な決まり事を定めた皇室典範と言うものがあり、現在、その皇室典範により天皇に即位出来るのは男系男子のみと決まっています。しかし現皇室には皇位継承可能な男子が皇太子様とも秋篠宮様しかおらず、そしてお二方には現時点で男のお子さんが生まれていません。そのことにより皇室内に皇位継承者がいなくなる可能性があります。

このままでは近い将来、皇室が維持出来なくなってしまうため、天皇家を維持する為に女性・女系でも即位できるように皇室典範を変えてしまおうという案が浮上してきています。それが皇室典範改正問題です。一見悪い事ではないように見えるかもしれませんが、それは**わが国の長い伝統を破壊してしまう恐ろしい法案**なのです。そんな法案がろくに説明されずに来年の通常国会に提出されようとしています。

Q2.有識者会議って何？

小泉首相の私的諮問機関「皇室典範に関する有識者会議」のことです。しかし**皇室典範に関する有識者といながら議長を始め、皇室問題に詳しい人間がいない、皇族や国民の意見は一切聞かない**というなんとも奇妙な諮問機関です。

Q8.でも良く知られていない人が即位するのもちょっと…

まず、それまで知らなかった成人男性が即位することはありません。男系男子の方さらに子供を幼いころから将来の天皇として教育することになるでしょう。それに先立って、その子供を現皇室の養子として迎えることも考えられます。また血縁で見ても昭和天皇に非常に近い方がいらっしゃるということも参考に示します。ただし血統で近いからといっても皇位継承の正当性を示すものではなく、あくまでも正当性は男系（父系）であるということから来ているということに留意して下さい。ここでは東久邇宮家の方を参考にさせていただきます。

Q9.有識者会議はなぜ旧皇族の復帰を選択肢から外しているの？

彼らの主張によると、以下の理由のようです。

- 1 旧皇族で男系（父系）となると600年以上前までに分かれている。
- 2 旧皇族では世論の支持を得られない。
- 3 旧皇族を復帰させても男系ではいずれ先細りになる。

こんなに沢山!!! 改正問題の問題

Q3.男系・女系って何？

男系（父系）とは天皇→父→父→父…→神武天皇と父親だけを辿って行けば必ず神武天皇に辿り着くことを言います。

そして女系とは、母親を辿ることになり、必ず男系でいうところの神武天皇にあたる最初の一人に辿り着くのですが、どうも皇室典範に関する有識者会議やマスコミでは、父もしくは母のどちらかを、都合よく辿っていくとどの世代かの天皇、引いては神武天皇に辿り付くことを「女系」と言っているようです。そんなものは女系でもないのです。**「皇統外」とでも言うのが本来ふさわしいように思います。**

父系で辿れるものだけ皇位継承の正当性があり男女同権とか男女差別とは何の関係もないのです。有識者会議の「長子優先」の案が通ってしまうと下手をするとなりが変わるごとに男系・女系とめまぐるしく王朝が変わると言うおかしいことになってしまいます。

Q4.女性と女系の違いって？

女性天皇はその名の通り、女性の天皇のことです。女系天皇とはQ3に書いた通りです。皇統の初代が女性であれば、その後男子が継いだとしてもそれは「女系男子」ですので女系天皇となります。（愛子様は男系の血に連なる方なので、仮に皇位に着かれた場合は、「男系女子」、男系天皇となります。）

Q5.女系が即位したことは？

125代中、**一度もありません。**女性が即位した事はありませんが、あくまで男系男子が基本であり、緊急の場合にのみ（男系男子が若すぎる、歳を取り過ぎているなど適切な年齢の男系男子がいない場合）男系女子が即位していました。

Q6.もう継承者はいないの？

継承できる男系（父系）男子は現皇族以外にはありません。旧皇族、旧宮家と呼ばれる方々です。

伏見宮家、梨本宮家、山階宮家、久邇宮家、北白川宮家、閑院宮家、東伏見宮家、賀陽宮家、朝香宮家、東久邇宮家、竹田宮家といった宮家があります。

その中に男系（父系）男子の方は20人ほどいらっしゃると思います。皇位継承の問題を解決するには旧宮家を復活させ、男系につないで行く方が混乱も少なく現実的であるといえます。

Q7.なぜ皇族じゃなくなったの？

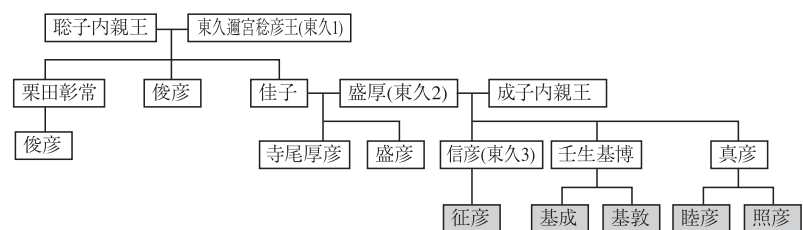
1947年、GHQの命令に基づく皇室財産の事実上の没収により、従前の規模の皇室を維持できなくなったことなどから皇籍を離脱しました。

旧皇族は男系で辿ると、600年以上前にまで遡ることになりますが、神武天皇に男系（父系）で繋がるので、天皇家のルールとしては問題がありません。

そもそも**旧皇族は、天皇に近い宮家の男系（父系）男子が断絶した場合に皇位を継承するために存在していたのです。**その本来の役割を果たすため復帰されるのが望ましいと言えます。

東久邇宮裕彦王（戦後初の首相）の曾孫の方々

東久邇征彦氏 1973/04/03生まれ 壬生基成氏 1979/09/22生まれ 東久邇睦彦氏 1980/11/13生まれ
東久邇照彦氏 1979/05/11生まれ 壬生基敦氏 1982/05/08生まれ



※東久邇宮裕彦王は父系(男系)で崇光天皇(北3代)や後伏見天皇(93代)に辿り付く
※聡子内親王は明治天皇の娘 ※成子内親王は昭和天皇の娘
参考・・・愛子内親王は昭和天皇のひ孫

しかし1.の理由で皇統外(女系)が認められるのならなおさら旧皇族が600年以上の隔たりなど関係なく認められてしまいます。というのはQ9で示したように女系でよいのなら昭和天皇にすぐに辿り付く方もいらっしゃるからです。（誤解のないように念を押しますが、昭和天皇に女系で繋がるから旧皇族に正当性があると言いたいわけではありません。あくまで600年以上の隔たりがあるから皇統外(女系)を認めるべきだという論旨が破綻していることを示しています）

2. に関してもQ9で示した通り理由になりません。

3.がどのような科学的根拠に基づくのか分かりませんが旧皇族も含めて皇位継承者は20人ほどいるそうです。先細りになるとしても何百年も先の話で、1年足らずの会議で拙速に決めてしまう問題では全くありません。

以上のように彼らが旧皇族の復帰を拒む理由に正当性があるとは到底思えません。